

## 富士見町赤十字奉仕団 ー富士見町赤十字奉仕団へ思いを寄せてー



日本赤十字社

日本赤十字社富士見町分区 富士見町赤十字奉仕団（住民福祉課社会福祉係 ☎62-9144）

日頃、赤十字の事業にご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。

奉仕団も今年で再スタートして10年になりました。と、申しますのも、以前は婦人会が活動しておりました。私が奉仕団に入団したのは、町社協の理事として3期6年間が終わり、何か社会貢献を考えていた時、有線放送で奉仕団員募集の放送があり、私は入団しました。

私は、婦人会の皆さんと活動しておりました。平成21年区長会で、町から区へ戸数割で奉仕団員を選出するよう要請があり、その結果賛同いただいた地区は、十数区だけでした。それでも富士見町赤十字奉仕団として団員40数名で活動を始めました。しかし二年後、各区自主防災選出の方々の任期が終わったため、多くの方が退団してしまい、一部の方に個人団員として残っていただき、現在は全員が個人団員として活動しております。

そもそも赤十字奉仕団とはボランティアの団体です。自主的な気持ちで少しでも人のため、社会のために貢献したい思いを持つ人の団体です。去年は数多くの災害が全国各地で発生しました。他人ごとではありません。明日は我が身かもしれません。奉仕団では有事の時のため少しでも役に立つよう、救急法の勉強会を年数回行っており、一般の方も自由に参加できます。その他、町防災訓練や生活展での炊き出し、募金活動も行っています。



毎年5月に日赤活動資金の寄付を皆様をお願いしておりますが、これこそが日本赤十字社の活動運営資金となります。内容、用途につきましては各戸に配布する「いのちを守る赤十字」というパンフレットを見ていただければご理解いただけると思います。義援金については、それぞれの被災地に全額お届けしております。

奉仕団の活動に興味関心のある方は、私たちと共に活動してみませんか。団員を常に募集しております。皆様のご参加をお待ちしています。

（富士見町赤十字奉仕団委員長 武藤 尚孝）

## 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ～子どもの場所から～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

子育てひろばAiAiは、富士見町の地域子育て支援拠点として14年間、子育てスタート期の親とその子ども達の交流の場、リラックスできる場、育ちの場を目指して様々な活動をしてきました。その間、毎年延べ3,000組前後、14年間で約40,000組の親子の日常に寄り添ってきました。同じ親子でも過ごし方や親子のやり取りが昨日と今日で全く同じということはないので、40,000日分の親子の生活を間近に支えてきたこととなります。親子一緒に生活を日常的に見続けている施設は、子育て支援拠点以外にはあまりありません。

子育てのスタート期に、いろんな人とつながり助け合いながら、子どもと向き合い、親として育つ経験ができれば、子どもの成長とともに生まれる様々な悩みや課題にも対応していくことができます。子どもと過ごす時間が親を親として育てます。

さて、これからの社会について、「予測できない」変化の時代とよく言われます。ICT、IoT、AIなど情報通信技術や人工知能に関する言葉が私たちの生活に入り込んできています。そういった変化の時代を生き抜く力を子どもたちに育むために、教育の分野でも大きな改革が行われています。親は自分たちが育てられた時代の価値観とこれから変化する新しい価値観の狭間で子育てをしています。悩みや課題も多様化しています。子育てひろばAiAiは、40,000日分の経験をもとに、親も子も一人ひとりを尊重し寄り添うことを基本に、これからは富士見町の宝である子どもたちの健やかな成長を願って活動していきます。



▲小学生がAiAiを利用する親子に読み聞かせをしてあげることもありました